

# 和泉小学校・いずみこども園等の施設整備について

---

2025年2月

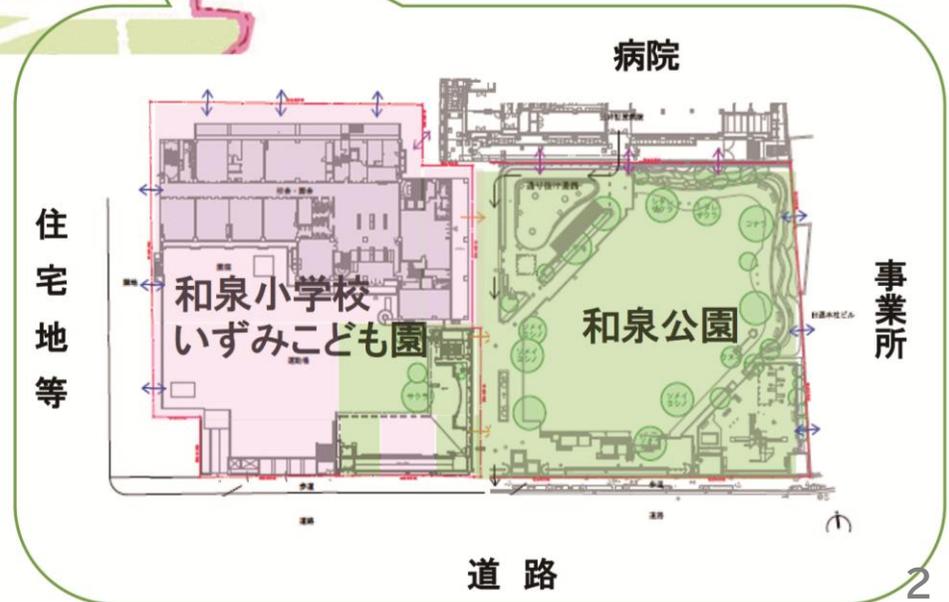
# 1. 背景と目的

- 和泉小学校・いずみこども園等を有するちよだパークサイドプラザは、竣工から37年が経過し、当該施設に老朽化等の課題があることから建替えに取り組むこととしており、小学校・こども園の機能継続の観点等から、現地建替えではなく、区立和泉公園敷地への移転建替えを行う方向で検討を始めています(公園との敷地交換、一体的整備)。



## 【施設の沿革】

- 旧佐久間小学校敷地を利用し、小学校と区民施設とを複合化した施設(ちよだパークサイドプラザ)として昭和62年(1987年)7月に竣工、9月に開設。
- 平成5年4月には、旧佐久間小学校と旧今川小学校を統合し再配置した「和泉小学校」として開校。
- 平成14年4月には、佐久間幼稚園といずみ保育園からなる幼保一元化施設として「いずみこども園」を新たに開設。
- 現在は、小学校・こども園の他、集会室等の地域利用施設(ちよだパークサイドプラザ)と児童館的機能(いずみこどもプラザ)を有している。



## 2. 現施設の課題

### 現施設の 主な課題

- ①建物の老朽化
  - ・設備の経年劣化による故障が頻発。
- ②管理運営面での課題
  - ・学校・こども園部分と地域利用部分の動線混在。
  - ・バリアフリーへの対応が不十分。
- ③児童数への対応
  - ・学区内での就学前人口が増加傾向にあり、教室数が不足する見込み。

### [現在の和泉小学校・いずみこども園等施設の構成]

敷地面積	3,963.06 m <sup>2</sup> ※)
延床面積 (全体)	11,454.9 m <sup>2</sup>
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート構造 地上8階・地下1階

建物 構成	8階 (屋上)	機械設備等
	5～7階、受付1階	ちよだパークサイドプラザ
	5・6階	いずみこどもプラザ
	1～5階	和泉小学校
	1・2階	いずみこども園
	地下1階	プール、給食調理室、防災備蓄倉庫等



※) 敷地に隣接する和泉公園の一部 (約600m<sup>2</sup>) に施設の人工地盤を拡張し校庭として使用している。

### 3. 地域との検討経緯

会議体名称	日付	会議概要
■和泉小学校学校運営協議会	平成30年12月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の課題共有</li> <li>・仮校舎の課題共有</li> </ul>
■和泉小学校・いずみこども園等施設整備 検討準備会  [参加者] ・小学校、こども園の校長等 ・小学校PTA、こども園PTAの関係者 ・町会の関係者(神田和泉町町会長) ・教育委員会事務局(教育担当部長、子ども施設課長)	令和元年12月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の現状について(情報共有)</li> <li>・スケジュールについて</li> <li>・和泉公園を利用する可能性を検討する。</li> </ul>
	令和2年2月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備について</li> <li>・和泉公園活用について、仮校舎建設による現地建替え、もしくは、新校舎建設による移転建て替えを比較検討。</li> </ul>
■和泉小学校・いずみこども園等施設整備 校・園関係者懇談会  [参加者] ・小学校、こども園の校長等 ・小学校PTA、こども園PTAの関係者 ・町会の関係者(神田和泉町町会長) ・和泉橋出張所長 ・教育委員会事務局(教育担当部長、子ども施設課長)	令和4年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備を建て替えで進めること</li> <li>・和泉公園を活用する方向性で検討すること</li> </ul>
	令和6年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「和泉小学校・いずみこども園等の施設整備について～基本構想素案(たたき台)～」の確認</li> <li>・和泉公園と換地する方針の確認</li> <li>・和泉公園閉鎖時の代替措置の検討</li> </ul>

## 4. 施設の基本的な考え方

- 令和5年度に取りまとめた「和泉小学校・いずみこども園等の施設整備について～基本構想素案(たたき台)～」では、施設の基本的な考え方を以下のとおり整理しました。

### (1) 新たな教育需要にも対応可能なゆとりある教育環境を整える

- ・ 児童数の増減、多様な学習形態、ICT教育環境への対応
- ・ 異年齢同士の交流、共に成長できる環境、小学校、こども園、児童館的機能の独立性と連携
- ・ メンテナンス、改修に柔軟に対応できる施設 など

### (2) 安全・安心を確保しながら、健康で環境に配慮した施設づくり

- ・ 教育施設と地域利用部分とを分けて安全性を重視
- ・ 限られた敷地を最大限活用し、思い切り身体を動かし、健やかでたくましい心と体の育成
- ・ 都心のなかでも、自然や四季を感じられる建物、省エネルギー化の推進 など

### (3) 地域に開かれ、ともに育む、防災拠点にもなる施設づくり

- ・ 学校を取り巻く様々な人々が活動する、地域の子育て、コミュニティ活動、生涯学習の場
- ・ 災害発生時には地域と連携し避難場所、防災拠点としての役割
- ・ 旧佐久間小学校及び旧今川小学校、和泉小学校の歴史・伝統・校風の継承 など

### (4) 公園と一体的に整備することにより、学校と公園が連携した施設づくり

- ・ 限られた敷地の中で教育活動を充実、遊び場としても身近に自然を感じられる公園活用
- ・ 校庭と共用し、都心地でのより広い公園を確保、地域のにぎわい・協働の場、自然の景観形成に貢献
- ・ セキュリティを確保し、校園と公園の利用者が安心して利用できる制度設計 など

# 5. 整備イメージ

- 小学校・こども園の機能継続の観点から学校等施設の和泉公園敷地への移転建替えを検討  
⇒ 公園との敷地交換・一体的整備
- 限られた敷地内での整備効果の最大化を図るため、校庭と公園の兼用(タイムシェア)といった一体的利用や、旧和泉町ポンプ所跡地に現ちよだパークサイドプラザの機能を分担すること等も検討



旧和泉町ポンプ所跡地



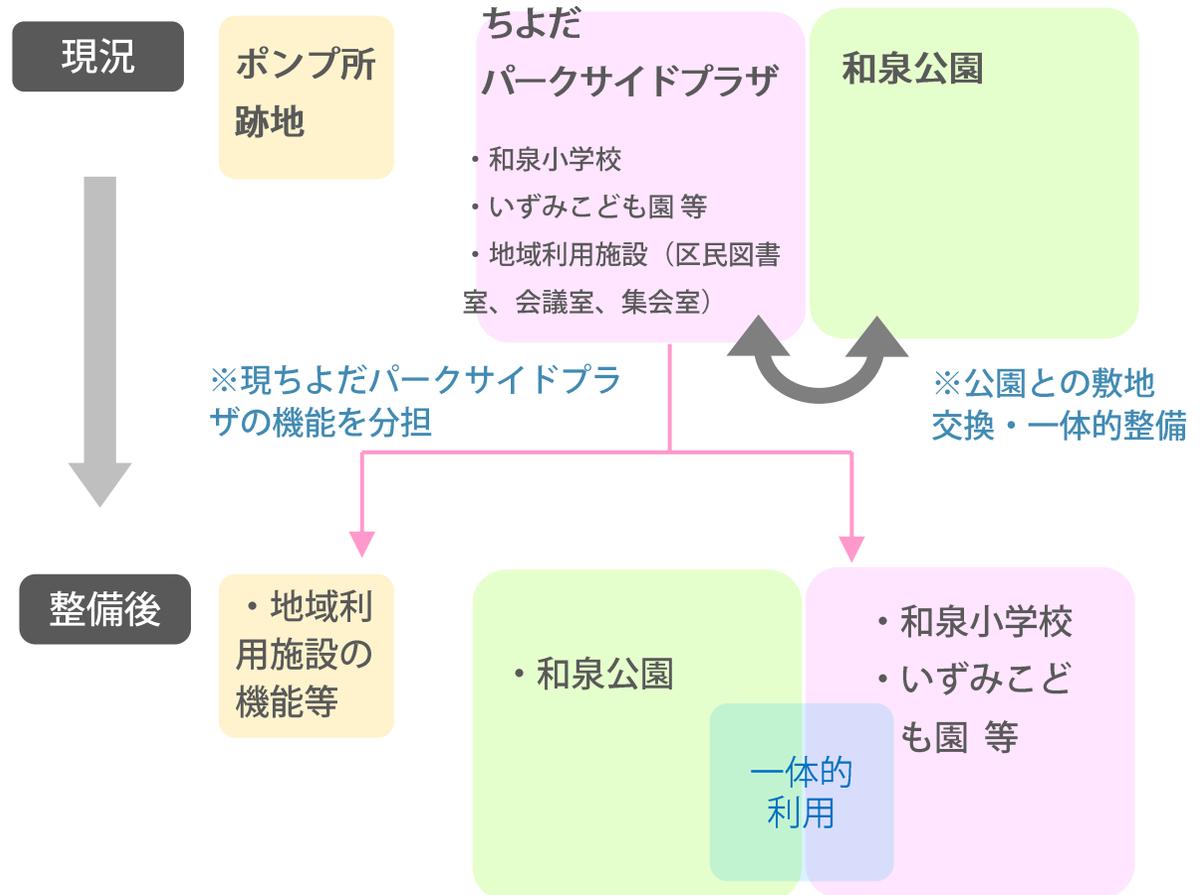
ちよだパークサイドプラザ



和泉公園(芝生広場)

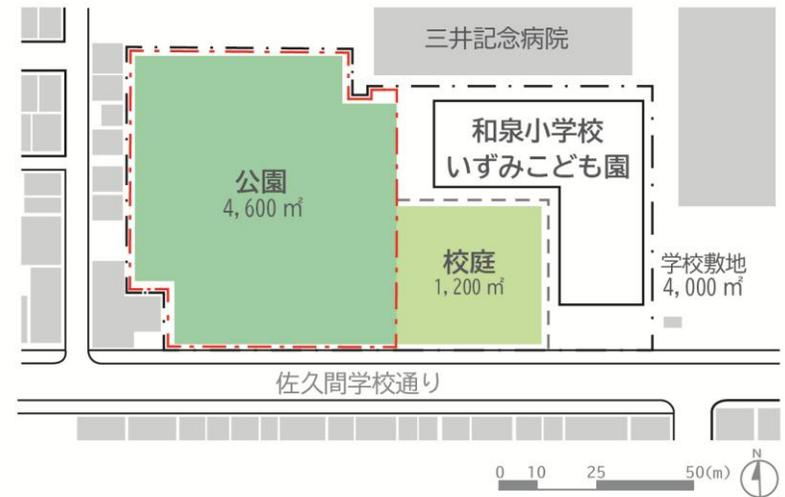
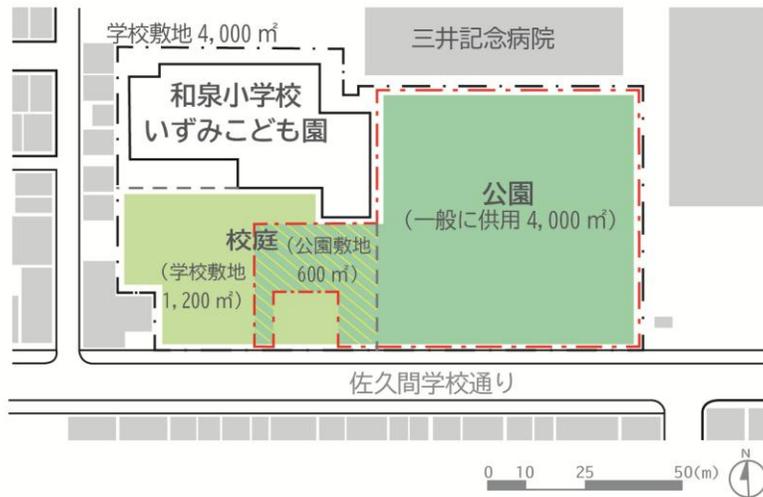


和泉公園(じゃぶじゃぶ池)



## 6. 公園との敷地交換・一体的整備について

- 敷地交換により仮校舎の建設や児童・園児にとって負担となる一時移転が不要になります。また、一体的整備により新たな施設と公園を合理的に配置し、全体の機能の向上を図ることができます。
- 一方、それぞれの公共施設には設置の目的があり、利用者等に違いもあります。特に公園については、敷地の交換後、現在の都市計画決定面積(約4,600㎡)を一般利用者に供用させる必要があります。



現在の校庭: 学校敷地1,200㎡+公園敷地600㎡=1,800㎡

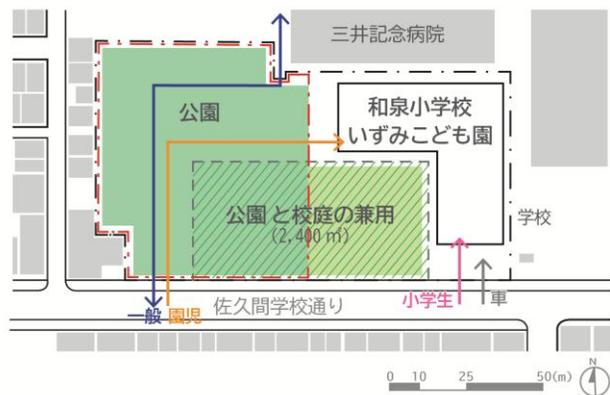
学校敷地(4,000㎡)の中で校庭を設けるため  
面積が小さくなってしまう

校庭と公園の兼用(タイムシェア)  
による利用可能面積の拡大※

※両敷地に跨って兼用エリアを設定。平日昼は学校の校庭、それ以外の時間帯は公園利用者が使用することで、双方にとっての利用拡充を図る。ただし、運用方法や費用、セキュリティの確保に十分留意する必要がある。

## 参考:公園と校庭の兼用(タイムシェア)を考慮した配置形態の検討

※都市計画公園 ■ 4,600㎡、学校敷地内校庭 ■ 1,200㎡、両者に跨る兼用エリア ■ 2,400㎡を共通として、レイアウトのパターンを整理。  
 ※各レイアウトとも移転建替え完了後の姿を表現。工事期間中は、公園閉鎖となり、新校舎の校庭も学校敷地内だけで確保。



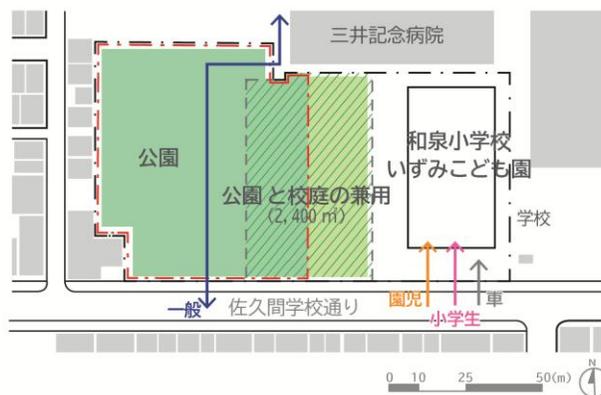
校舎:L字パターン  
兼用エリア:南中央

### メリット

- ・校庭に面する部分が長く、校庭と校舎との一体感がある

### デメリット

- ・道路から離れた奥まった箇所に公園が位置する、道路側間口も狭い
- ・校庭の防球ネットが道路側に与える圧迫感が大きい



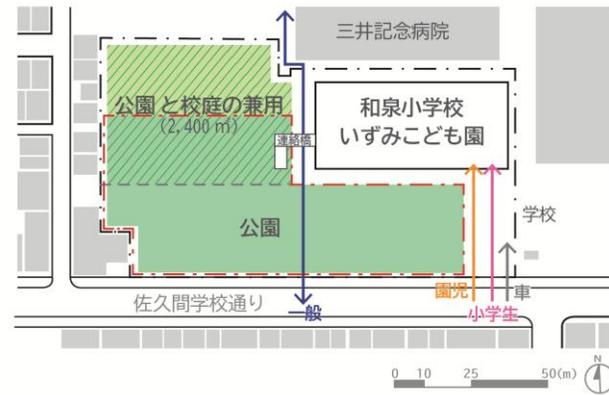
校舎:矩形—東パターン  
兼用エリア:中央

### メリット

- ・公園、公園と校庭の兼用エリア、それらをあわせたエリアがそれぞれまとまった整形となる

### デメリット

- ・公園と施設の利用動線がはっきり分かれるため、施設と公園の関係性が薄れる



校舎:矩形—北パターン  
兼用エリア:北西

### メリット

- ・公園の間口が広く、出入りしやすい
- ・校庭の防球ネットが道路から離れるため、道路側が開放的

### デメリット

- ・通り抜け動線確保のため、校舎から校庭への動線が歩道橋等になる
- ・冬季における公園の日当たりが比較的悪い

# 7. スケジュール

